

「九州学院ナルドの壺基金」 にご協力を



九州学院同窓会会長
山崎恒雄氏 (S21回)

定例の大同窓会も盛況のうちに終わることができました。私は昨年の大同窓会総会で松村会長の後任指名を受けて1年経過しました。各

支部同窓会へも精力的に参加させていただきましたが、訪問すればするほど、会員の皆さんの母校九州学院に対する熱い思い入れが伝わってきます。

なるべく支部総会が重ならないようにしていただくと、私たち役員や学校の院長先生はじめ他の先生方も参加することができます。支部総会などを企画される際は、事前に同窓会本部事務局までお知らせ下さい。

また、今年3月卒業生の中で現役で東京大学合格者が出て、大きな話題となりましたがその支援に、昨年から始まりました「ナルドの壺基金」が大きく貢献したことを報告したいと思います。「ナルドの壺基金」は九州学院の今後の運営を考え、①育英奨学基金、②生徒活動支援事業、③教育活動整備事業、④保護者家計急変等生徒支援事業、⑤教職員の教育・研究支援事業のための目的に使われます。同窓会が70周年記念事業として立ち上げた①の育英奨学基金は学力優秀者への奨学金を給付しています。同窓会と学校が協力して募金活動を継続して行っている事業です。単年度で終わるのではなく継続事業として九州学院を支援してまいりましょう。運動部の活躍はご周知のとおりです。熊本県をリードし、全国制覇はじめ全国を舞台に活躍が続いています。

文武にわたる活躍は生徒全体に浸透し、学校を訪問してみると生徒の皆さんから来訪者へ挨拶が飛び交う活気のある自信に満ちた生徒が通う素晴らしい学校です。同窓会として、九州学院と連携を図りながら進めていきますので、出来るときに出来る範囲のご支援をよろしく願います。



九州学院ナルドの壺基金の中に組み入れられています。

今年度の育英奨学金支給対象者は新入生を含めて中学生8名、高校生15名となり、この日は阿部九州学院院長、吉岡同窓会育英奨学委員長、青山同窓会委員長らが激励の言葉を述べ、生徒一人一人に奨学金を手渡しました。

お知らせ

歴史資料・情報センター主催 「書画・写真展」 耐震補強工事のため中止

昨年「九学祭」の時に開催しました書画・写真展は、今年は、耐震補強工事のために中止とします。次年度は開催予定ですので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

- 瑞宝単光章 村上 智信氏 (S14回)
- 瑞宝単光章 元神奈川県警
- 瑞宝単光章 潮谷 愛一氏 (S10回)
- 瑞宝単光章 慈愛園子供ホーム園長
- 瑞宝単光章 九州ルーテル学院大学
- 瑞宝単光章 伊津野良治氏 (S6回)
- 瑞宝単光章 熊本県医師会理事
- 瑞宝単光章 熊本内科病院院長・医師
- 瑞宝単光章 熊本内科病院院長・医師

2015 大同窓会総会・懇親会

～500名超が参加～



4月17日(金)6時半から、熊本ホテルキャッスルにおいて、2015年度九州学院同窓会定期総会と懇親会が開催され、関東・関西などからの参加者も合わせ500名超の同窓生が

集いお互いの親睦を深め母校の発展を祈りました。総会では2014年度の活動報告、決算報告、監査報告の後、2015年度活動計画、収支予算案などが審議されました。懇親会は、先のチャの全国大会で3位に入賞した九州学院チアダンス部ミアムズの元気はつらつとした演技から始まり、あつという間に会場は熱気に包まれました。

- 4月 入学式に会長出席
- 大同窓会実行委員会(以下、実行委員会)大同窓会総会・懇親会
- 5月 奨学金授与式
- 6月 同窓会新聞発行
- 役員会・実行委員会
- 熊本信愛女学院同窓会設立100周年記念祝賀会
- 7月 反省会
- 9月 常任幹事会
- 奨学生・給費生を励ます会
- 育英奨学委員会
- 10月 常任幹事会
- 東海大付属熊本星翔高校同窓会設立50周年記念祝賀会
- 11月 熊本西高校創立40周年記念祝賀会
- 12月 大同窓会実行委員会

発行
九州学院同窓会
広報委員会
責任者・山崎恒雄
熊本市中央区大江5丁目2-1
九州学院内
096-366-4533
http://www.kyugakudousokai.jp/
題字は
紫垣正弘・元同窓会会長

同窓会活動報告 (2014年4月)

- 1月 若手の会成人式
- 大同窓会実行委員会
- 2月 常任幹事会
- 大同窓会実行委員会
- 高校卒業生に同窓会活動の紹介
- 新卒業生クラス幹事との懇親昼食会
- 3月 高校卒業式に会長出席、新卒業生に記念品贈呈
- 高校卒業式に卒業50年と卒業30年の方々学院から招待
- 中学卒業式に会長出席
- 常任幹事会

同窓会育英奨学金を授与 今年は中高23名

5月15日(金)九州学院(会議室)において九州学院同窓会の育英奨学委員会による奨学金の授与式が行われました。この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として、1983年から九州学院同窓会がはじめたものですが、昨年から「九州学院ナルドの壺基金」の中に組み入れられています。

今年度の育英奨学金支給対象者は新入生を含めて中学生8名、高校生15名となり、この日は阿部九州学院院長、吉岡同窓会育英奨学委員長、青山同窓会委員長らが激励の言葉を述べ、生徒一人一人に奨学金を手渡しました。



奥羽徹也氏

- 副会長 奥羽 徹也 (S44回)
- 新生靖一郎 (同)
- 森 泰造 (同)
- 福島 慎吾 (同)
- 橋本 武 (S45回)
- 事務局 長 福嶋 光秋 (同)

第14回五校経済同友会 合同例会に100名

5月28日(木)、熊本ホテルキャッスルにて第14回五校経済同友会合同例会(千原台、熊本学付、第二、真和、九学)が開催され、県内100名の経済人が会場に集いました。

昨年10月の講演会に引き続き、今回も九州学院経済交流会(小杉康之会長・208名)が幹事校を務めました。

小杉会長(株式会社 コスギ不動産 代表取締役)の挨拶の後、熊本県商工観光労働部 新産業振興局 産業支援課 上田哲也氏(S37回)が『くまもと経済』のカタチとこれからと題し、講演を行いました。

講演終了後は、各団体の会長挨拶、活動報告・事業アピールなども行われ、学校という枠を超え、熊本の経済力を高めるべく活発な意見交換が行われていました。



若手の会の役員を改選 新会長に奥羽氏

4月17日、総会で若手の会の役員改選案が無事可決、新会長に奥羽徹也氏(S44回)が就任しました。前会長の柴田正樹氏(S43回)は相談役に就きました。若手の会は2013年に発会し、今年で3年目に入ります。今年度も、チャペルに同記の通り。

- ラーメン
- 芋焼酎
- ビーフカレー
- 手延ソウメン
- フェイスタオル

祭九学会は昨年はS42回が当番学年でした。今年は第37回目の秋の例大祭への参加となり、S43回の実行委員会の人たちが担当をします。現在、グッズを販売中ですので、皆様方のご協力をお願い致します。



祭九学会

オリジナルグッズ販売のご案内

祭九学会S43回実行委員会 担当:落合 修一
TEL.090-3074-8604 FAX.096-343-2936
※ご注文はFAXでも可能です。

① Tシャツ(2色)各2,000円

などご用意しております

「燦々会」が喜寿のお祝い

昭和33年に九州学院を卒業したS10回の学年同窓の私たちは、語呂合わせで「燦々会(さんさんかい)」と名付け12年前に発足。毎年3月3日に総会・懇親会を開くほか暑気払いや忘年会など一年を通し様々な会合を開いています。

今年、3月3日(水)に、阿蘇プラザホテルにて「喜寿」の祝会を行いました。会には、関東(5名)、関西、四国などからの参加者を含め32名が集い、九学後輩の阿蘇氏が大司宮をつとめる「阿蘇神社」に参拝…夜は青春時代に立ち返り大いに賑わったことはご想像のごとです。(注:ホテルのメイドさんやコンパニオンさんからは、皆さん全員若々しい方ばかりですね!と嬉しい言葉も…)。

翌日は母校九州学院を訪れ、なつかしいブラウン・メモリアル・チャペルで、小副川チャブレンからの祝福を受け、賛美歌を歌い、はるか57年前の懐かしい学生時代に思いを馳せ、感涙におせぶ友の姿もありました。ローマ・東京オリンピックに出場した水泳の吉無田春男君も当会の一人で、昨年リニューアルオープン「歴史資料・情報センター」に展示された当時の本人使用のユニフォームを懐かしそうに眺めていました。

鶴屋百貨店の前会長の本田一君も当会のメンバーの一人であることから、毎年の懇親会も同店の宴会場を利用していますが、昨年は「東京燦々会」も立ち上げ熊本からも参加するなど交流を深め活発な活動を展開しています。

この度は「東京九学会結成40周年」、誠にありがとうございます!



総会・懇親会には一人でも多くの燦々会メンバーが参加出来ますよう声かけを行います。ご盛会を心から祈念申し上げます。(会長・豊田稔、代表幹事・藤城芳之)

5月29日から(土)31日)日本武道館にて52カ国・地域が参加して行われた剣道の第16回世界選手権の男子団体決勝で、日本が3連覇、通算15度目の優勝を決めました。



山田凌平氏



西村英久氏



内村良一氏

剣道世界選手権日本代表に九学OB3人、西村氏は個人4強

羽ばたく同窓生

実は、日本代表10人の中に九州学院剣道OBが3人も入っています。全日本を過去三度制した内村良一氏(51回・警視庁)、昨年(51回)の全日本ベスト4の西村英久氏(59回)・熊本県警、高校在学中に選ばれた山田凌平氏(67回・明大1年)と、いずれも九学時代から全国にその名を轟かした実力者ばかりです。

団体では大将の内村氏が日本の優勝に大きく貢献、西村氏は個人4強入りを果たす活躍をみせました。

ドラゴンズコーチ 松岡功祐氏(13回)



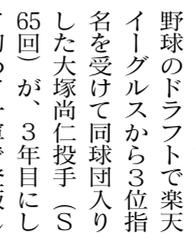
2月12日(木)、NH

この春、九州学院中学校を卒業して相撲界(木瀬部屋)に入った井上知洋氏(177センチ・125キロ)は、初土俵の夏場所序ノ口西10枚目でデビュー



初土俵の夏場所序ノ口でデビュー 井上知洋氏(17回)

2012年のプロ野球のドラフトで楽天イーグルスから3位指名を受けて同球団入りした大塚尚仁投手(65回)が、3年目にして初めて一軍で登板しました。



3年目で初登板 大塚投手(65回)

東京九学会 7月11日総会・懇親会
今年、東京九学会設立40周年の記念すべき年にあたり、例年以上の参加者が望まれますので、多くの皆様のご参加を期待します。
7月11日(土) 受付:17時~19時30分
懇親会:18時~20時30分
場所:学生会館(東京都千代田区神田錦町3-28)
連絡先:090-5792-0100 高森幹事長

関西九学会 7月4日総会・懇親会
8月の高校総体は関西が舞台となります。甲子園、都大路、花園なども含めて九学の活躍を期して是非勢を上げましょう。お誘い合わせの上でご参加ください!
日時:7月4日(土) 受付:16時30分~総会:17時45分程度
懇親会:18時~場所:ホテルグリーンプラザ大阪(大阪市北区中崎西2-3-21)
連絡先:090-5161-6117 (中尾幹事長)

寺中友将氏(S59回)の所属する人気ロックバンド「KEY TALK」が10月28日(水)、東京・日本武道館にて初のワンマンライブを開くことが決定しました!!



左から2番目が寺中氏

KEY TALK 日本武道館で初ライブ 寺中友将氏(S59回)

また、5月20日(水)には3枚目となるニュー

アルバムの「HOT!」もリリースしました。

九学時代には一年時からレギュラーとして、甲子園に三度出場して活躍、早くからプロ野球関係者の注目を集めました。

坂元昭彦氏(S13回)は、社交ダンス愛好家団体「Shall we ダンス?」の代表を務め、西区小島の西部公民館でボランティア「ダンス教室」を毎週開いています。

ダンズで楽しく ボランティア 坂元昭彦氏(S13回)

家族会 拉致被害者 松木薫氏(S24回) 救済実現を国に再要請
35年前の1980年に失踪し、北朝鮮による拉致被害者と認定されている松木薫氏(S24回)の弟の松木信宏氏(S43回)ら拉致被害者の家族が、4月3日に安倍首相と約1年ぶりに面会しました。
家族からは被害者の帰国が実現出来るよう、強く求める声があり、「私たち家族は、精神的にも肉体的にも、すでに限界状態になっています」と訴えました。
松木薫氏が一日も早く日本に帰って来られるよう、引き続き皆様のご協力を宜しくお願い致します。

荒牧邦三著「くまもの被差別部落」
長年にわたり熊日の記者として活躍した荒牧邦三氏(S18回)現熊日会館社長)が今年初めに「くまもの被差別部落」を出版し、このほど九州学院図書室に寄贈。

先日、木村氏の身内の方から、木村氏の代表的な著作「チベットの潜伏十年」を寄贈して頂きました。

熊本学園大学などでスベイン史やスベイン語を教える、椎名浩氏(S37回)が、5月に原書房から「日本とスベイン」文化交流の歴史」を出版し、九州学院図書室にも寄贈。

同著は南蛮・キリシタン時代から現代までの日本との関係などが興味深く書かれています。

寄贈図書 椎名浩著「日本とスベイン」

Table with 3 columns: Name, Birth Date, Death Date. Includes names like 高08 後藤 賢三, 高08 北村 公祐, etc.

木村肥佐生著「チベット潜伏十年」
九州学院OBの木村肥佐生氏(旧中24回)は、昭和15年、指名調査のため当時何世紀も閉ざされた状態にあったチベットに入国しました。その滞在は先の大戦をはさみ10年にも及び、ダワ・サンポと名乗り現地の人たちと親密な交流を続けました。帰国後は駐日アメリカ大使館や亜細亜大学の教授として活躍し、平成元年に他界するまでの間、チベットとの懸け橋的役割を果たし続けました。

その活躍は英語の教科書にも取り上げられたほどで、チベット関係の著作も多数残っています。

木村肥佐生著「チベット潜伏十年」
九州学院OBの木村肥佐生氏(旧中24回)は、昭和15年、指名調査のため当時何世紀も閉ざされた状態にあったチベットに入国しました。その滞在は先の大戦をはさみ10年にも及び、ダワ・サンポと名乗り現地の人たちと親密な交流を続けました。帰国後は駐日アメリカ大使館や亜細亜大学の教授として活躍し、平成元年に他界するまでの間、チベットとの懸け橋的役割を果たし続けました。

バスケット部OB 小田桐氏(S6回) パネル写真を寄贈
5月13日の午後、バスケットボール部のOBで東京在住の小田桐貞氏(S6回・1954年卒)が在熊の旧友

田河泰吉氏(S7回)、野田常二氏(S6回)と共に来校され65年前の県下新制中学バスケットで優勝した時の集合写真を歴史資料・情報センターに寄贈されました。

田河泰吉氏(S7回)、野田常二氏(S6回)と共に来校され65年前の県下新制中学バスケットで優勝した時の集合写真を歴史資料・情報センターに寄贈されました。